



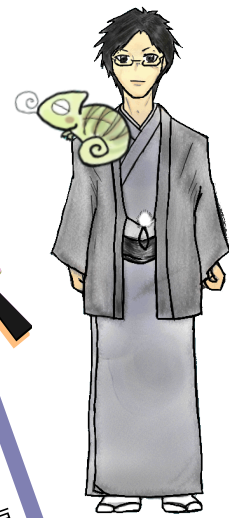
嶋見かのん
(向社会性の育成から)

新しい一年が始まりました。本年4月からは、概算要求事業も3年目を迎えます。当初より、この3年目が最難関で、事業の成否を決定づける大切な一年になると予想していました。予想どおりの3年目になりそうです。

さて現在、3年目の挑戦の準備が整い始めています。来年度は、徳島県下20校ほどでこちらの教育を実施できればと考えています。

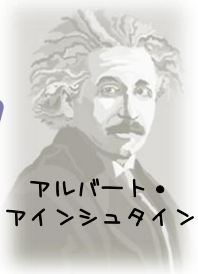
センターの開発してきた授業も、小学3年から中学1年まで160時間分がもうすぐ完成します。来年度は、それを広く実施し、その是非を問う仕事を中心にします。本年も、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

予防教育科学 教育研究センター 所長 山崎 勝之



ヨクウツ先生と
カメレオン博士
(抑うつ予防から)

☺1月13日(金)から 鳴門教育大学付属中学校で1年生を対象に「感情の育成」「向社会性の育成」の授業が始まります。生徒のみなさんはまず「相手のきもち」に取り組みます。授業はアインシュタインを超えるかもしれない、ある天才の物語とともに進みます。(「向社会性の育成」の詳細は3月号に掲載予定です)



☺本学大学院で行っている「予防教育学」の講義が終了します。10月からTOP SELFに関する、理論と実践を扱ってきました。いよいよ終わりに近づいています。写真はソーシャル・スキルの育成の実践編で、自分に必要な援助と援助者を複数考える授業の様子です。実践を通して将来の勤務学校において、自ら予防教育科学に基づいた予防教育を実施できる基盤を各学生に形成します。



☺12月5日(月) 阿南市平島小学校で4年生を対象に行われていた「自己信頼心(自信)の育成」の授業が終了しました。4年生のみなさんは「ロボ」と一緒に、自分の個性を一番星・二番星として黒板に輝かせたり、友達の良いところを早押しゲームを通して発表したりしました。12月26日に徳島新聞にも、掲載していただきました。記事はHPに掲載予定です。



☺1月28日(土) 第2回「学校予防教育」推進協議会を開催します。第2回では来年度の実施状況や、今後の募集案を検討するとともに、小学校・中学校での教育の実例をもとにTOP SELF教育への理解を深めます。



今回の通信には特別号が付いています。合わせてご覧ください。

詳細はHPで。「予防教育科学」で検索!